

優秀賞 柳家三三賞

根府川に 小さな太陽 実る冬

メルモ

小田原市 50歳

審査員コメント 柳家三三

根府川から見る朝日：相模湾をキラキラ輝かせながら昇るところは、息を飲む素晴らしさです。お日様の光をいっぱいにあびたみかんはまさに「小さな太陽」。三三賞は、景色が脳裏に広がるこの一句で決まり！



柳家三三(やなぎや・さんざん)1974年小田原生まれ、本名蛭田健司1993年3月小田原高校卒業後に柳家小三治入門「小多け」1996年5月二ツ目昇進「三三」に。2006年3月真打ち昇進。寄席、ホール落語など全国で精力的に活動。

優秀賞 椰月美智子賞

浜町で 五十路の私を 「ひろみちゃん」

メルモ

小田原市 50歳

審査員コメント 椰月美智子

クスッと笑ったあと、人生についてしみじみと思いを巡らせてしまいました。子ども時代のひろみちゃんがいる、今の五十路のひろみちゃんがいるのです。ずっと続いて明日へつながっていく。きつと八十路になっても「ひろみちゃん」でしょうね！ みっちゃんより。



椰月美智子(やづき・みちこ)小田原生まれ。2002年『十二歳』で第42回講談社児童文学新人賞を受賞し、デビュー。2007年『しずかな日々』で第45回野間児童文芸賞と第23回坪田譲治文学賞をダブル受賞。その他の作品に『るり姉』『伶也と』など著書多数。最新刊は『14歳の水平線』。

優秀賞 FMおだわら賞

幸が 万年続く 街であれ

口笛太郎

愛知県 51歳

審査員コメント 鈴木伸幸

小田原の自治会では、旧町名を自治会名として使用している地域がたくさん存在します。現在の町名で表すより旧町名で発したほうが地元に対する親しみやすさや結束感をより強く感じることができるとは思いませんか。「幸地区」と「万年地区」をうまく使ったすてきな川柳になっています。



鈴木伸幸(すずき・のぶゆき)1961年小田原生まれ。県立小田原高校卒業後、ミュージシャン～音楽プロデューサーを経て2006年FMおだわら設立に参画。現在、FM小田原株式会社代表取締役、小田原柑橘倶楽部発起人、小田原藩龍馬会 幹事長。

サプライズだらけの

第一回になりました

「第一回 おとなりさん川柳大賞」を終えて

ついに第一回の「おとなりさん小田原川柳大賞」が決まりました。大賞は市内の32歳「りょう」さんが受賞しました。おそらく川柳界では若手の方の受賞に驚いたやら、なんだかうれしいやらです。

そして、もっと驚いたことは今回審査員をお願いした三三師匠と、椰月さんが選んだ作品の作者が同じ方だった

こと。これはもう、奇跡としか言いようがありません。「メルモ」さん、もしかしたら我々は大変な才能を発掘してしまったのかもしれない。

さらに、FMおだわら賞に選ばれた「口笛太郎」さんは、なんと愛知県の方です。今回、他にも多数市外の方からご応募をいただきました。ありがとうございます。これを機に、みなさんの今後の人生の中で小田原がちょっと気になる存在になる事を期待しています。

さて、今回これらの受賞作品以外にもたくさん素晴らしい作品がありましたので、ここからはそれらの作品を紹介していきたいと思えます。

まず気になったのが、「ネギしょって ちよっと寄ってこ 鴨のみや」(晶小田原市 49歳)という作品と、「飲んべいの 鴨が集まる? 鴨宮」(たんぽぽ 小田原市 41歳)という作品。これはもう合わせて一本! と言いたくなります。

もう一組、合わせて楽しみたい作品をご紹介します。「初恋の 記憶は曾我の梅まつり」(あまけん 東京都 71歳) 「曾我の梅 女房の顔は 撮り忘れ」

(湘路 川崎市 69歳)という作品。両方とも曾我の梅の花を通して人生における「記憶」と「記録」の大切さを教えてくれました。

次は「板橋路 故人にあえると 地

蔵尊」(グレース ケイコ 小田原市 63歳)。心にぐっときました。映画化してほしいくらいです。そんな映画化熱望シリーズをもう一本。「初恋の君に出会えた 城山の道」(絹月小

田原市 60歳) これは、もうぜひ大林宣彦監督に撮っていただきたいです。ちよっと大人な作品も。「浦町で酔うて 昔のひとに会い」(仙人小田原市 74歳) この艶っぽさは中々出せません。「小田原城 登ればヒラも天下人」(となみ 小田原市 55歳)

サラリーマンの聖地にしましょう。少し違った視点の作品も。「戦国ファン 早川着くと 目が光る」(ひこうき雲三重県 36歳) わかります、地形とか見ちゃいますよね。「ウメ子なき小田原城は さびしいぞう」(きよ小田原市 48歳) 本当だぞう。

ちよっと、しみみりしたところで、そろそろ誌面の方が尽きてきました。第一回の「おとなりさん小田原川柳大賞」楽しんでいただけましたでしょうか。今回はこの辺でおひらきにしたいと思えます。まだまだ紹介しきれない素敵な作品が沢山ありますので、作品の一覧をホームページに掲載することになりました。ぜひご覧になってみてください。

来年も夏に、第二回の募集を行います。お待ちしています。お待ちしています。